

ちいさくて
あったかい
それが厚真高校



AZUKO

Hokkaido Atsuma High School

令和6年度入学案内

北海道厚真高等学校



北海道厚真高等学校

〒059-1605 北海道勇払郡厚真町字本郷 234-3
TEL.0145-27-2069 FAX.0145-27-2091

<http://www.atsuma.hokkaido-c.ed.jp>



「ちいさくて あったかい それが厚真高校」

～生徒一人ひとりを大切にする学校～

北海道厚真高等学校長 佐瀬 雅彦



厚真高校は、胆振管内東部、「厚い真心で人々がふれあう町」厚真町にあります。厚真町は正式には「あつま」ですが、昔から「あづま」と呼ぶ人が多く、パンフレット表題の「AZU KO」が本校の愛称となっております。

本校は、1953 年（昭和 28 年）創立、今年度開校 70 周年を迎える全日制普通科の高校です。厚真町の豊かな自然、静かで落ちついた教育環境の中で、生徒と先生の信頼関係に基づき、小さな学校ならではの生徒一人ひとりを大切にしたい教育を行っています。生徒同士や教員との距離感が近く、お互いを理解し、伸び伸びとした学校生活を送ることができます。また、体験学習やインターンシップ、放課後の公営塾「よりみち学舎」の活動（希望者）などを通じて、教員以外の人とも触れ合う場があり、多くの刺激を受けることができます。私は、今年 4 月に着任しましたが、この数ヶ月の間にも、生徒の落ち着いた姿や変容、成長する姿を見ることができました。それは、「ちいさくて あったかい」この学校の持つ力なのではないか、と自負しております。

厚真町からは、通学費補助・検定料助成、給食の提供（利用には月額 5,000 円程度かかります）など手厚い支援をいただいております。今後も、皆様の信頼や期待に応えるため、本校教育活動の一層の充実に努めてまいりますので、是非入学をご検討ください。

教育目標

よき市民、よき社会人を育てる

めざす生徒像

- 自ら進んで学習に取り組む人
- 適切な言語活動を通して自己表現力を高めた人
- 広い視野と高い社会性を身につけた人
- 豊かな感性と寛容の精神を兼ね備えた人

重点目標

- 1 基礎的・基本的な知識や技能及び読解力の向上を図るとともに、主体的に学習に取り組む生徒を育てる。
- 2 言語活動や体験的活動などを通して、よりよい人間関係や社会性を育成するとともに、自己表現が適切に表出できる生徒を育てる。
- 3 自己の適性を理解するとともに、将来の進路設計を明確に持ち、未来を切り拓く向上心にあふれ、課題解決に必要な思考力、判断力を持った生徒を育てる。
- 4 豊かな感性や寛容の精神及び自他の生命を尊重する意識と態度を持ち、自ら正しく判断して行動できる生徒を育てる。

年間行事



入学式



キャリア教育講演会



学校祭



強歩大会



見学旅行



スキー体験学習

- 新入生事前登校
- 始業式 ●入学式
- 新入生歓迎会

- 高体連壮行会 ●PTA 総会 ●生徒総会
- 携帯・スマホ教室 ●田植え体験
- 生徒会交流 ●前期中間考査

- 企業説明会 ●避難訓練 ●キャリア教育講演会
- 田舎まつり参加 ●全校教育相談①
- 防犯・薬物乱用防止教室

- 学校祭 ●夏季休業
- 進路講習 ●農業体験

- 夏季休業 ●夏季確認テスト

- 前期末考査 ●生徒会役員選挙
- 交通安全教室 ●強歩大会 ●前期終業式
- 体育大会 ●1 年生インターンシップ

- 後期開始 ●中学生体験入学 ●セーフティーコール
- 企業訪問 ●林業体験 ●2 学年見学旅行
- 防災教室 ●租税・年金教室 ●ドライバーズセミナー

- 全校教育相談②
- 職場体験学習
- 後期中間考査

- 体育大会 ●生徒会交流 ●冬季休業
- 進路講習 ●職場体験学習発表会
- 合格体験発表会 ●授業公開週間

- 冬季休業 ●3 年生を送る会
- 冬季確認テスト
- 学年末考査 (3 年生)

- スキー体験学習 ●学年末考査 (1・2 年生)
- 生徒会交流 ●高校生就職ガイダンス

- 専門学校出前授業 ●救急救命講習
- 卒業式 ●修了式

厚真高校の笑顔になる教育活動

～小さくて あったかいそれが厚真高校～



一人ひとりが分かる学習活動

学習の基礎・基本を大切に

厚真高校は1学年1クラスの学校ですが、この「小ささ」が学校の長所になっています。先生方一人一人がすべての学年に入って授業を行い、基礎・基本を中心に、生徒一人一人を大切にする学習活動を行っています。また、毎年すべての先生方がすべての生徒と教育相談を行い、学習や進路、生活などについて話し合う機会をもつなどいてないサポートが受けられる学校です。



充実したキャリア教育

将来の社会的自立に向けて



「キャリア教育」を重視する本校では、高校卒業後、一人一人が自立し活躍するために必要とされる知識や能力、態度を身につけるために、さまざまな体験的活動や行事を行っています。全員が参加する職場体験学習や専門学校出前講座、企業説明会、企業訪問、職場見学、交通安全教室、地域貢献活動など、地域の方々や企業関係者、学校関係者と連携しながら特色ある取組を行っています。

インターンシップ

令和元年（2019年）度より1学年・2学年生徒での「職業体験学習（インターンシップ）」を実施しています。複数学年での全生徒インターンシップは他校にはあまり見られない取組です。

1学年では第一次産業（農林業）、2学年では第二次産業（製造・建設業等）・第三次産業（サービス・公務・商業等）の事業所で、実際に働く経験を積んでいます。実際に働くことで、将来の職業観・勤労観を早いうちから養成し、職業に就いた時のために備えています。



地域連携校

交流の様子



平成20年（2008年）度より北海道で最も早く指定を受けています。協力校（苫小牧東高）と生徒会行事や部活動での交流を深めています。また、遠隔システムが常設され、他の連携校（虻田高・穂別高・豊富高・佐呂間高）とリアルタイムでの生徒会交流などに活用し、北海道中の高校と交流することができる大きな特徴です。

基礎・基本を大切にした英語授業

ALTと基礎から進学対策まで

厚真町教育委員会と胆振教育局の両方からALTが派遣され、月に1～2回ALTの授業があります。入学してしばらくの間は中学校で習った英語を復習し、英語に苦手意識を持つ生徒にもスムーズに高校英語を学習できるように配慮しています。3年生では、進学者用の選択科目を設け、大学受験や英検に向けた学習もできます。



遠隔授業



生徒の多様な興味・関心に応えるために、北海道高等学校遠隔授業配信センターから「書道Ⅰ」の授業を受信し、オンラインで「遠隔授業」を行っています。端末を用いて課題に取り組み、課題や作品の提出を行います。また、ビデオ会議アプリにより筆の持ち方や書き方なども個に応じた丁寧な指導を受けることができます。

地域連携活動

ボランティア部・家庭科授業

生徒達のボランティア活動は、豊かな人間性や社会性を身につける良い機会となっています。厚真町の夏祭りや文化祭へ参加、子ども教室の支援、清掃活動など積極的に取り組んでおり、家庭科の授業でも福祉施設やサークルの訪問、支援などを行っています。



家庭クラブ

学校家庭クラブ活動では、家庭科の授業で学んだことを生かして、家庭や地域生活の改善・向上を目標に調査研究、実践活動を行います。研究成果は地域イベント、地域連携校交流、全道大会等で発表し広く発信します。

最近では「ハスカップ」、「鹿肉」、「異世代交流」、「手話・点字」などをテーマに活動しています。



各種検定・資格の取得へ向けて

資格を自分の力に



卒業後の進路に向けて、1年に1回以上受検する取組で生徒の資格取得に力を入れています。本校は、情報および商業の科目を設置しており、授業と連動しながら情報処理検定、ワープロ検定、簿記能力検定、電卓能力検定などを受検することができます。その他、漢字・英語検定はもちろん、危険物取扱者資格、食品衛生責任者資格の取得などにも力を入れています。厚真町の支援により、検定料の3/4を助成してもらうことができます。

学校給食

令和元年（2019年）度から、厚真町学校給食センターから1食300円で給食の提供を受けています。厚真町の学校給食は、地産地消をテーマにした「地場産食材」を盛り込んだ、評判の給食です。本校は昼食も「あったかい」学校です。

厚真町公営塾「よりみち学舎」



令和4年（2022年）4月より、厚真町の教育魅力化支援事業の一環として公営塾「よりみち学舎」が開設されました。公営塾は、厚真高校と地域との連携を行いながら厚真高校に通う生徒が自ら目標を発見し挑戦する場となっています。学校との連携では生徒一人ひとりに合わせた学習プログラムを組むことで、個別の学習、進路実現へのサポートを行います。将来の夢や目標の発見につながるプログラムや体験活動を組んでおり、キャリア教育にも対応しています。また、地域との連携では、町内に住む方々との交流や対話を通じて多様な価値観を見出していきます。学習面のみならず、自分自身の生き方や在り方を自発的に考えるきっかけ作りを目指しています。

厚真高校の5つの部活動

- バドミントン部……………例年6つの大会へ出場。大半が高校からの初心者です。
- 美術部……………高文連苫小牧支部美術展へ出展。
- 写真部……………高文連全道写真へ出展、多岐にわたる活動。
- ボランティア部……………放課後こども教室参加や被災文献の修復等多岐にわたる活動。



地域と連携した陸上競技部

今年発足した陸上競技部は、学校と地域の連携をモチーフに厚真町のスポーツ少年団と連携し、生徒の練習環境の整備と指導の一体化を行っています。実践も経験もある指導者の下、生徒1人ひとりの個性を尊重し、よりよい環境で、より質の高い練習を行っています。

- 2023年実績
- 男子円盤投・男子砲丸投 インターハイ出場
- 女子円盤投・女子ハンマー投インターハイ出場



現役生の声



毎日楽しく、あたたかい雰囲気が魅力。
資格取得も手厚くサポートしてくれます。

厚真中から進学した男子は自分一人で、最初は不安でしたが、すぐに友達ができ楽しく過ごせています。もともと中学の時も生徒会活動をしていたのですが、高校は生徒がメインとなって主体的に活動するので、そこに憧れて入りました。今は学校祭の準備などで大変なこともあります。みんなと一緒に目標に向かって活動するのが楽しいです。以前よりも積極的に自分を出していけるようになったと思います。勉強面では、英語検定準2級を取得するために頑張っています。厚真高校では、資格取得費用の4分の3を助成してもらえます。資格を持っていて損はありませんし、自分の強みを増やすことができ、先生方も親身にサポートしてくれるので、とてもありがたいと感じています。厚真高校は、人数は少ないけど他学年同士がとても仲が良く、生徒一人ひとりがそれぞれ楽しみながら毎日過ごしていて、ずっとあたたかい雰囲気に包まれているところが魅力だと思います。



生徒会副会長
3年生 桐原 駿翔
(厚真中出身)



1 学年 1 クラス 先生一人一人が
生徒に向き合ってくれる学校です。

一年生の後期から、中学生から憧れていた生徒会役員になりました。学校行事を運営する側の大変さや楽しさを体験することができたおかげで、以前よりも広い視野で物事を見れるようになりました。最近は苦手な勉強にも取り組んでいます。公営塾でみんなと勉強したり、わからない問題を先生方に教えてもらいながら、日々成長しています。厚真高校の魅力は2つあります。1つ目は「先生方と生徒の距離が非常に近い」ことです。先生一人一人が全ての学年に入って授業を行い、生徒一人一人に丁寧に教えてくれます。2つ目は、様々な体験や挑戦が出来ることです。厚真高校の近くは自然に恵まれており、田植え体験を始め、農業や林業など、普段出来ない経験をする事が出来ます。更に、資格取得費用の助成もあるため、自分の進路に向けて様々な挑戦や経験が出来るのも魅力です。「小さくて あったかい」少人数だからこそ、他学年や先生方と仲が良く、楽しい学校生活を送れています。たくさんの人たちに助けられながら、なりたい自分に向けて、日々学んでいきたいです。



生徒会監査
2年生 加藤 迅
(光洋中出身)

OB・OGの声

患者様とコミュニケーションできる歯科技工士になりたいです。

私は手に職をつけたいという気持ちがあり、いろいろな学校のパンフレットの中から当校を見つけ歯科技工士という職業を知りました。美術部で手を動かすこと手先を使うことがとても好きだったので自分に向いていると感じ、当校で歯科技工士を目指そうと決めました。入れ歯などは患者様一人ひとり形が違い、ミリ・マイクロ単位の作業なので、繊細さや集中力が求められ大変です。でも、材料から少しずつ形

にして完成させ 前より上手にできたときは成長を実感できます。厚真高校では、生徒会活動が一番の思い出です。人と話すことが苦手でしたが、活動を通じて人前で話したり、いろいろな方と交流したりできるようになりました。今の目標は、国家試験に合格すること。将来は、人と話すことが好きになれたので、患者様とコミュニケーションを取り、寄り添っていける歯科技工士になれたらと思っています。



北海道歯科技術専門学校
平成30年3月卒 福山 美琴

好きを仕事に。自動車のエンジニアとして活躍しています。



日本工学院北海道専門学校
令和3年3月卒 安孫 愁斗

私は子供の頃から車が好きで、叔父が自動車整備士になったのがきっかけで自分も整備士という職業に興味を持ち始めました。自動車整備士になるためには資格が必要です。資格を取得するには、一年の実務経験を経た後から三級自動車整備士の受験資格を得て試験を受ける流れになります。二級自動車整備士になるにはそこから三年の実務経験が必要となります。ですが専門学校に入学し二年間経験と知識を身につけて卒業し資格試験を受け

ることで、卒業後すぐに二級自動車整備士になることができます。私は叔父と同じように日本工学院北海道専門学校自動車整備科を卒業し、現在はネットヨタ苫小牧のエンジニアとして働いています。高校時代は委員会やバドミントン部に所属していたりと充実した高校生活を送ることができました。厚真高校では教育振興会から資格取得の補助をしていただけのため、様々な資格を取ることができるのが魅力だと思います。

今は仕事の全体像を覚えることが目標。先輩の仕事ぶりから多くを学んでいます。

小さい頃からプラモデルなどを組み立てるのが好きで、就職するときにも物を作る仕事に就きたいと思いました。現在はトヨタ自動車北海道の工場 で 4 輪駆動車に使われる部品の組み付けに携わっています。部品の製造工程は全部で13あり、私はその中の4工程を担当しています。自分の作業をきちんとこなすのはもちろんですが、前後の工程についても理解していないと品質の良 い部品に仕上げることはできません。

現在の目標は、全ての工程を理解できるようになること。職場に目標としている先輩がいるので、その人の仕事を見学し、工程の流れや作業のコツなどを学んでいます。高校時代は生徒会で書記を務めるほか、バトミントン部で活動するなど充実した毎日を過ごしました。厚真高校は先生と生徒との距離が近く、施設設備も充実しており、落ち着いた環境で勉強や資格取得に集中できるところが大きな魅力ですね。



トヨタ自動車北海道株式会社
平成31年3月卒 佐藤 諄也

受益者さんに喜ばれるのがやりがい。高校で人として大切な行動を学びました。



厚真町土地改良区
令和2年3月卒 高橋 尚揮

土地改良区は、農地に水を供給するための施設の管理、農地の整備事業、土地改良事業に関わる施設の維持管理などを行っている団体です。もともと改良区で働いている地元の方に誘われたのがきっかけで、自分も胆振東部地震で被害にあった農地を元に戻したいという思いもあり、入職しました。現在は用水路や排水路、導水管などの調整・操作、調査・測量、図面作成などを担当しています。維持管理は天候など

の影響も受け、水の調整が難しく、時間がかかることも多いのですが、受益者さんから「工事をやってよかった」と言ってくれ、やりがいを感じます。また図面作成ソフトを使って、自分なりの考えで図面を描いて設計できるのが楽しいですね。厚真高校では、時間を守る、挨拶をする、お礼を言うなど、人として大切な行動を身につけられ、それが仕事でとても役立っています。

進路状況（過去3年間）

令和2年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	0	0	3	3	3	1	0	0	10
女	1	0	2	0	4	0	0	0	7
計	1	0	5	3	7	1	0	0	17

令和3年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	0	0	3	0	4	1	0	0	8
女	0	0	1	0	2	0	0	0	3
計	0	0	4	0	6	1	0	0	11

令和4年度卒業生

	進 学			就 職				その他	合 計
	大学	短大	専門学校	町内	管内	道内	道外		
男	2	0	4	0	10	0	0	1	17
女	0	0	0	1	8	2	0	0	11
計	2	0	4	1	18	2	0	1	28

過去3年間の主な大学・短大、専門学校 進学先

札幌学院大学	札幌ブライダル & ホテル観光専門学校
札幌国際大学	苫小牧高等技術専門学院
北海道千歳リハビリテーション大学	日本工学院北海道専門学校
北海道情報大学	北海道情報専門学校

過去3年間の主な就職先

アイシン北海道株式会社	株式会社ダイナックス
日本ホワイトファーム株式会社	いすゞエンジン製造北海道株式会社
株式会社 三星	株式会社マザーズ
自衛隊 一般曹候補生	社会医療法人 平成医塾
第一金属株式会社	カルビー株式会社北海道工場
株式会社コスモグラフィック	株式会社ラルズ

地域一丸となって皆さんの学習活動を応援します！

厚真高校教育振興会の 支援内容

北海道厚真高等学校教育振興会は、厚真高校の地域に根ざした特色ある教育活動の支援を目的に設立された組織で、通学や各種資格取得に要する経済的負担の軽減や学校活動などへの支援、キャリア形成に要する経費の支援など、厚高の教育活動や生徒・保護者の皆さんを側面から応援します。

沼ノ端線が運行

沼ノ端駅前から乗り換えをしないでバス通学ができます

平成 29 年 1 月からあつまバスが運行している路線に沼ノ端線が新設され、沼ノ端前から厚真高校前まで乗り換えをしないで通学できるようになりました。

通学費の助成

通学費の 5 分の 4 を助成

公共交通機関を利用する通学生の通学費用を助成します。

●JR 苫小牧駅から通学する場合

＊JR 定期代（苫小牧駅～沼ノ端駅）……………1 ヶ月 6,320 円
＊あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）……………1 ヶ月 24,600 円
定期代の合計 30,920 円のところ、24,736 円の助成により実質負担額 6,184 円に！

●JR 沼ノ端駅から通学する場合

あつまバス定期代（沼ノ端駅前～厚真高校前）……………1 ヶ月 24,600 円
定期代の合計 24,600 円のところ、19,680 円の助成により実質負担額 4,920 円に！

●JR 早来駅から通学する場合

あつまバス定期代（早来駅前～厚真高校前）……………1 ヶ月 15,480 円
定期代の合計 15,480 円のところ、12,384 円の助成により実質負担額 3,096 円に！

●上厚真から通学する場合

あつまバス定期代（上厚真～厚真高校前）1 ヶ月 21,240 円
定期代の合計 21,240 円のところ 16,992 円の助成により実質負担額 4,248 円に！
※あつまバスは片道定期もあり、助成の対象です。
※あつまバスの定期は、あつまバス本社窓口で定期代の 5 分の 1 の額で購入することができます。

町内通学生への支援

実費相当額を支援

町内の通学生徒（公共交通機関利用者を除く・片道が 2km 以上が対象）は、通学に要する実費相当額を支援します。

資格取得への助成

各種資格取得に要する検定量の 4 分の 3 を助成

厚真高校生徒は、様々な資格や検定に取り組んでいます。実用英語技能検定、情報処理技能検定、ワープロ検定、危険物取扱者、漢字能力検定等に生徒が果敢にチャレンジしています。

履歴書に記載できる資格取得を目指してこの支援を活用してください。なお、回数制限はなく、可否は問いません。

学習支援

- リクルートのスタディサプリ高校講座の視聴
- タブレット端末が 1 人 1 台利用可能
- 希望者は町内で実施されるイングリッシュキャンプに参加可能

その他の支援

- 大学や企業見学の際のバス借上げに対する支援
- スキー体験学習でのインストラクター招聘に対する支援
- 地域行事（田舎まつり）への参加に対する支援
- 下宿費用の 1/2 を助成（上限あり）
- その他特色ある教育活動等への支援

厚真の豊かな自然の中で おちついた高校生活を送りませんか！

厚真町は、山あり、海あり、湖沼ありの自然豊かなマチです。丘陵地帯には水由や畑が広がり、収穫時にはマチが黄金色に色づきます。四季の移ろいを実感できる自然豊かな中で、厚真町はおちついて高校生活を送ることができるマチです。

①こぶしの湯あつま

厚真高校の近くには日帰り入浴のできる公共の宿「こぶしの湯」があります。あつまスタードームなどを利用してたくさんの高校生や大学生が合宿をしている施設です。



②あつまスタードーム

厚真高校の隣にある「あつまスタードーム」は、道内でもベストスケールを誇る「全天候型多目的土間体育館」。一年中、テニス、サッカー、野球を楽しむことができます。



③サーフィン・ボディボード

浜厚真海岸は道内でも有数のサーフィンのメッカとして知られています。冬期間以外は通年で道内のサーファーが太平洋の大海を楽しんでいます。



厚真の特産品

厚真産ハスカップ

厚真町はハスカップの作付面積が日本一。「厚真産ハスカップ」は地域ブランドとして市場でも高い評価を受けており、美容や健康に良い効果が期待できると近年の研究でわかっています。



厚真のイベント

スターフェスタ（冬の花火大会・干支文字焼き）

2 月にこぶしの湯付近で行われる「スターフェスタ」は、雪景色を背景に花火と干支文字焼きの競演。厚真町ではほかに 6 月に田舎まつり、1 月に雪上 3 本引き大会などイベントが盛りだくさんです。



厚真の公式キャラクター

あつまくん

厚真の公式キャラクターあつまくん。厚真の特産品のコメ、ハスカップ、道内屈指のサーフポイントにちなみサーフボードを背負っています。

